

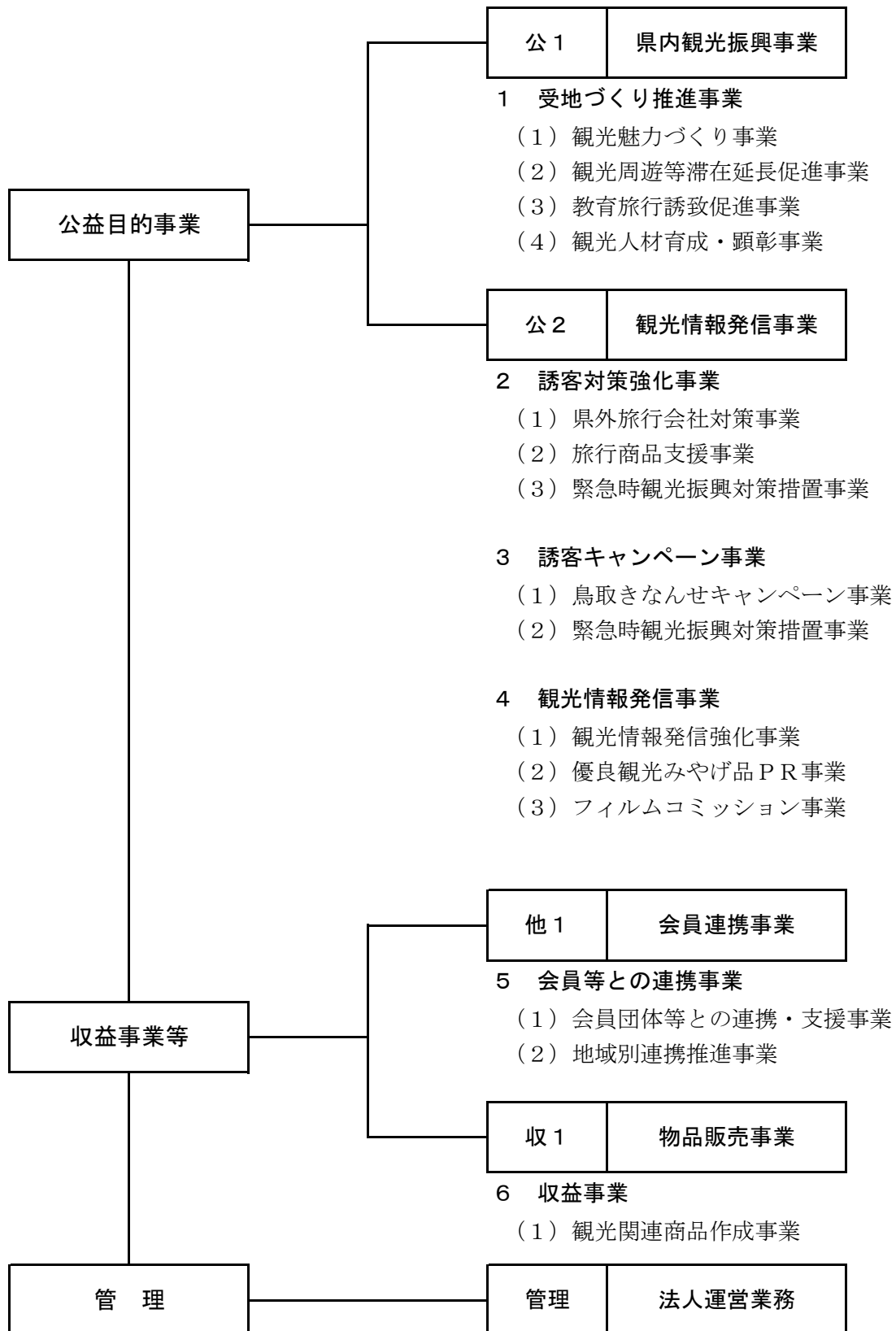
令和7年度 事業報告

I 総括

- 令和7年度の鳥取県観光は、上期に開催された「大阪・関西万博」や猛暑の影響、また本年1月6日発災の島根県東部を震源とする最大震度5強の地震による風評被害による影響などにより、宿泊旅行統計等によれば、年間を通じて対前年を下回るなど苦戦を強いられる状況であった。一方、ソウル便、台湾便の就航によるインバウンド客の増加や「大阪・関西万博」のレガシーを活かした広域周遊促進、食・温泉・まんがアニメ聖地巡礼など地域資源連携の強化等、令和8年度に向けた明るい兆しも見られた。
- 令和8年1月6日島根県東部を震源とする地震の発生により生じる宿泊キャンセルや風評被害の対策として、発災直後から主にSNSを使い営業の状況は影響の有無について「正しい情報」の発信を行った。
また、1月20日には、小谷会長が鳥取島根両県知事と一緒に国道交通省等に対して風評被害対策の支援を要望するとともに、「トリパス・ポケふた周遊スタンプラリー」を延長開催した。
- 旅行会社に対する観光情報説明会・商談会を春季・秋季に開催し、商品造成の働きかけの強化を行った。
また観光プロモーターが旅行会社へ年間を通じて商品造成を働きかけるとともに、旅行会社等と連携した誘客キャンペーンイベントを各市場圏域で開催し、本県の認知度向上並びに誘客促進を図るとともに、商品造成・販売担当者を招致した視察を実施した。特に視察研修では県内消費の拡大に向け、富裕層向けの旅行商品造成担当者を対象とした視察を実施した。
- 教育旅行誘致を推進するため、教育旅行誘致コーディネーターが中心となって、学校や県外旅行会社への働きかけを引き続き行った。
プログラム開発にあたっては、誘致促進協議会を通じて専門アドバイザーを招聘し県内視察や関係団体との意見交換を実施した。
また台湾からの教育旅行誘致に繋げるためJNTOと連携により現地商談会に参加し、本県への教育旅行の実施に向けた情報発信を行った。
- デジタル情報による旅行先の選定など旅行ニーズの多様化が進むなか、デジタルツールを活用した観光DXにも引き続き積極的に取り組んだ。
SNSでの投稿頻度を上げるとともに、プレゼントキャンペーン等の実施により大幅にフォロワー数が増加し、SNSを使った情報発信の効果が向上した。
WEB広告やWEBメディアを使った情報発信を実施するとともに、公式サイト閲覧者の属性分析や生成AIが最適な周遊コースを提案する機能など、情報発信ツールの刷新にも引き続き取り組んだ。
- 新たな旅の楽しみ方として注目されている「映画やドラマのロケ地を巡る旅（ロケツーリズム）」を所管するフィルムコミッション（以下「FC」）の取組みとして、FCが支援をして県内で撮影された連続ドラマ「北方謙三 水滸伝」の放送に併せて特設サイトを開設し、ロケ地となった「中国庭園 燕趙園」を中心にPRを強化した。
また、映像制作会社等に向けた「とっとり映像ライブラリー」の収録素材の拡充を行い、将来のロケツーリズム推進に繋がる体制の強化を図った。
- 「因幡伯耆國神社巡り」の充実や「観光パスポート（トリパス）」の通年展開などにより県内周遊促進に繋げるとともに、「優良観光みやげ品」の選定・PRや「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の情報発信を行うことで観光客の周遊及び滞在の促進・県内消費の拡大を図った。

Ⅱ 事業体系

令和7年度は、以下の事業体系のとおり各種事業を実施した。



Ⅲ 事業報告

() 内は最終予算額

1 受地づくり推進事業 (公益目的事業1)

(1) 観光魅力づくり事業

決算額 3,538,998円 (7,000千円)

多様化する観光客ニーズに対応した魅力的な観光素材を提供するため、観光素材の発掘・磨き上げ等への支援や広域観光の魅力づくり等を進め、本県への誘客を行った。

ア 開運神社巡り事業

干支所縁十二神社及び開運八神社の計二十社を巡る「因幡伯耆國開運神社巡り」を実施し、開運祈願の旅を楽しめるよう、対象神社二十社にオリジナル御朱印スタンプを設置、二十社を巡る「旅印手帖」などのグッズを販売した。その他、広報、旅行商品化を行った。

① 広報の実施

- ・メディアキャラバン (12/19) を実施し、神戸新聞 (新聞)、ラジオ関西 (ラジオ)、西 navi (フリーペーパー)、L m a g a . j p (Web 記事) などに掲載された。

② 旅行商品化

- ・河原交通
あめのかみがき
いちご狩りと天神垣神社の石馬特別拝観 (催行人数 31 名)
- ・メルキュール鳥取大山リゾート&スパ
縁結びの地「山陰」開運女子旅プラン



メディアキャラバンの様子

イ 着地型観光資源ブラッシュアップ促進事業

県内および地域内での観光周遊を促進するため、地域にある魅力的な素材の発掘や磨き上げに取り組み、富裕層向けやテーマ性のある着地型商品の開発・販売に対し助成を行うとともに、地元事業者や旅行会社との意見交換会等を通して、商品化への提言や情報発信を行った。

① 支援制度の概要

持続可能な観光地形成や収益力向上につながる、着地型商品の造成・販売、観光資源のブラッシュアップ事業支援 (1 事業上限：総事業費の 2/3 または 50 万円の低い額)

② 主な取組

- ・事業者相談会
開催日：令和 7 年 7 月 29 日～31 日
相談者：砂丘の家レイガーデン、水木しげる記念館、森の国、星取テラスせきがね
内 容：観光プロモーター、教育旅行コーディネーター等による相談会を開催
- ・八頭町観光協会 若桜鉄道ブラッシュアップ事業
開催日：令和 8 年 1 月 30 日
内 容：若桜鉄道貸切 (地酒列車) に県内 (松江を含む) 旅行会社及び観光プロモーターと意見交換会を実施。



若桜鉄道 (貸切)

ウ 広域観光推進事業

① 鳥取・岡山広域観光協議会との連携

鳥取・岡山広域観光協議会 (両県の県、観光連盟で構成) でドライブマップを改訂・増刷したほか、観光 P R イベントを開催し、両県への誘客を図った。

鳥取・岡山ドライブマップの改定・増刷	(作成部数) 33,000 部 (印刷は協議会予算で負担) (配布場所) 兵庫・大阪・京都及び中国四国の道の駅、鳥取岡山両県内の観光案内所、旅館組合等	
観光 P R イベントでの情報発信	①実施場所：とっとり・おかやま新橋館 実施日：令和 7 年 8 月 30 日～8 月 31 日 実施内容：お楽しみ抽選会、SNS フォローキャンペーン、特産品の試飲・試食 ②実施場所：ディアモール大阪内ディーズスクエア 実施日：令和 7 年 11 月 2 日 実施内容：SNS フォローキャンペーン、特産品の試飲・試食	

②中国 5 県グルッとグルメ！デジタルスタンプラリー

中国地域への誘客及び域内周遊を図るため、中国地方 5 県の観光連盟で連携し、グルメをテーマにした周遊キャンペーン（デジタル）を実施した。

キャンペーン名	中国 5 県グルッとグルメ！デジタルスタンプラリー
実施期間	令和 7 年 10 月 1 日～12 月 26 日
概要	○LINE を活用したデジタルスタンプラリー： 各県からイチオシグルメと対象店舗（2～3 か所）を設定し、取得したスタンプ数に応じて特典に応募。



スタンプラリーチラシ

エ 観光DX推進事業

コロナ禍後の旅行スタイルの変化や、多様な旅行ニーズへの対応を図るため、観光情報発信・誘客促進ツールのDX化を推進した。

<主な取組内容>

- ・観光パスポート「トリパス」のデジタル版の運用
- ・観光ガイドマップのデジタル化及び連盟公式サイトスマートフォン対応
- ・SNS・Web 広告活用による人流・発地・属性等のデータ分析活用の取組検討
- ・連盟公式サイト「とっとり旅」への生成AIによるモデルコース作成機能実装

（2）観光周遊等滞在延長促進事業

決算額 13,987,428 円（14,583 千円）

リピーター対策と個人旅行対策の強化に向けて、観光周遊やまちなか観光など滞在時間の延長促進のため、多様な体験プログラムの情報発信や特典付き観光パスポートの発行を行った。

ア 体験プログラム情報発信事業 <県補助>

旅行者ニーズが高い体験型観光について、日本最大級のレジャー予約サイト「アソビュー！（asoview!）」と連携して、旅マエ・旅ナカの旅行者に対し、同サイトでの情報発信、リスティング広告（広告掲載）及びアソビュー会員へのメルマガ広告を実施した。

また、登録されている事業者数の増と体験メニューの拡充を図るため、6 事業者 8 プランのメニューの掘り起こしを行った。

- ①「アソビュー！（asoview!）」の令和 7 年度利用実績等
メニュー数：262 件、予約数 1,722 人
- ②Web 媒体を活用した本県ブランドページへの誘導結果
Google によるリスティング広告を 7 月～9 月の間に実施。
広告表示回数：130,269 回 広告表示による予約件数：224 件

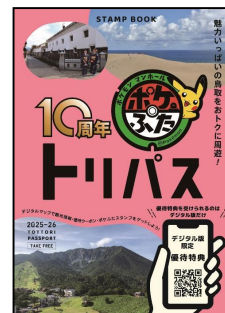


アソビュー！ホームページ

イ 観光パスポート発行事業 <一部県補助>

県内宿泊・周遊・再来訪等を促進するよう、発行から 10 周年を迎えた観光パスポート「トリパス」（冊子版・デジタル版）を発行した。

- ①本県を周遊する楽しみ方の紹介、スタンプラリー、観光施設をお得に利用できる割引特典クーポン（デジタル版のみ）で構成。
- ②旅行者の参加意欲を高めるため、スタンプラリーや優待施設利用期間の通年化。
- ③連盟ホームページのモデルコースや季節特集に誘導する記事ページを設置。



<トリパスの概要>

名 称	とっとり観光パスポート「トリパス」2025 版 ※令和 6 年度から通年発行に移行
実施期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
発行部数	冊子：112,000 部（A6 サイズ・20 頁） PR チラシ：37,000 部（A4 両面）
優待特典	参画施設：194 施設
応募状況	スタンプラリー（4/1～1/31）応募数：7,667 件（うち 5,857 件はデジタル）

(3) 教育旅行誘致促進事業

決算額 15,841,406 円 (18,550 千円)

県外学校の本県への教育旅行を誘致するため、旅行会社へのプロモーション活動、探究プログラムの開発など受入体制の整備・強化、旅行会社への補助制度を通じた誘客に取り組んだ。

また、台湾からの教育旅行の誘致にむけて、日本政府観光局（JNTO）と連携して取り組んだ。

ア 教育旅行誘致促進事業 <県補助>

①教育旅行関連会議・キャラバン及び現地視察等の実施状況

<関連会議>

鳥取県教育旅行受入検討会議・総会、民泊受入会議、鳥取県教育旅行受入検討会議

<キャラバン・現地視察>

教育旅行キャラバン（首都圏、関西）

旅行会社等視察（首都圏、関西地区等）



首都圏現地視察（奥大山自然塾）の様子



日本修学旅行協会理事長講演会の様子



関西地区現地視察（砂丘）の様子

②探究学習プログラム造成への取り組み

プログラム開発を専門の会社に委託し、探究型学習プログラムの造成を行った。

- ・岩美町東浜/民宿エリアをフィールドとした地域課題の解決に挑むプログラム
- ・水木しげるロード/店舗のインタビュー等により地域課題を探究するプログラム

③教育旅行誘致補助制度の概要と実績

- ・教育旅行宿泊費助成補助金（1 千円/人・泊、上限 1 校 300 千円）
- ・視察支援補助金（実費の 1/2、上限 1 校 100 千円）

【宿泊補助実績】申請 21 校 2,247 名（延べ泊 3,513 名） 交付額 3,409 千円

【視察支援実績】申請 2 件 交付額 156 千円

④県外教育旅行受入実績（宿泊助成・バス助成分のみ） 数値は学校数、（ ）は生徒数

区分	合計	関西	中四国	中部	首都圏
R7 年度	27 (3,033)	17 (1,994)	5 (440)	3 (440)	2 (159)
R6 年度	35 (4,715)	22 (2,744)	8 (819)	4 (932)	1 (218)
対前年比	77.1%(64.3%)	77.2%(72.6%)	62.5%(53.7%)	75.0%(47.2%)	200%(72.9%)

イ 台湾訪日教育旅行促進事業 <県委託>

JNTO の取組と連携し、台湾からの教育旅行誘致に向けて、県関係課および県内事業者と連携し、現地商談会への参加及び教育旅行関係者の招致を行い、台湾教育旅行誘致に取り組んだ。

①台湾訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会

期間：令和 7 年 6 月 10 日～11 日

場所：台北市、高雄市

②台湾教育旅行関係者の現地視察及び意見交換

期間：令和 7 年 10 月 21 日（火）～25 日（土）

主な視察先：鳥取敬愛高等学校、鳥取東高等学校
倉吉市関金地区 等



現地セミナー及び個別相談会（台北）

(4) 観光人材育成・顕彰事業

決算額 777,191 円 (2,400 千円)

観光業界の現状や課題をふまえ、誘客や滞在周遊に繋げるため、現地視察研修を開催した。

また、関係団体が自主的に実施する人材育成事業を支援するとともに、顕彰事業として、関係団体から推薦された者に対して観光事業功労者の表彰を行った。

ア 観光まちづくり人材育成研修事業

(1) 現地視察研修

開催日 令和7年10月7日

参加者数 18名

実施内容 ドラマ関連のスポットや開運神社巡りの来季の所縁神社等の視察を実施。

(視察先)

天神垣神社、上淀白鳳の丘展示館、上淀廃寺跡、

レストランあけまの森(昼食)、

旧中井旅館周辺(小泉八雲・セツ夫妻ゆかりの地)、神崎神社



旧中井旅館視察

(2) 座学「サービス産業のカスハラ発生防止セミナー」

開催日 令和7年12月4日

講師 桐生 正幸氏(東洋大学大学院社会学研究科長 教授)

会場 白兔会館2階らいちょうの間(鳥取市末広温泉町)

参加者数 37名

実施内容 来年度より事業主のカスタマーハラスメント対策が義務化となり、また、近年社会問題となっていることから「カスタマーハラスメント」をテーマに、県雇用・働き方政策課と共催で研修を実施した。

(3) 講演会「観光事業者へ向けた新しい教育旅行の在り方～ビジネスとしての修学旅行～」

体験会「探究学習プログラム体験会」

開催日 令和8年2月25日(講演会)、2月26日(体験会)

会場 (講演会) 倉吉交流プラザ2階 第1研修室(倉吉市駄経寺町)

(体験会) 水木しげるロード周辺(境港市)

講師 金井 隆行氏((株)TOKYO EDUCATION LAB 代表取締役社長)

参加者数 (講演会) 12名、(体験会) 7名

実施内容 これからの鳥取県の観光振興の観点からも、教育旅行の誘客を推進することは重要で、改めて教育旅行の現状や、これからの展開を習得し、旅行者への新たなメニュー造成や受入につながるきっかけになることを目的に、鳥取県教育旅行誘致促進協議会と共催で講演会及び体験会を開催した。

イ 観光人材育成支援事業

実施概要 第2種会員向け支援1件

支援団体 倉吉観光MICE協会

支援内容 同協会が実施した観光ガイド先進地視察研修の経費の一部を支援した。



観光事業功労者(写真中央2名)

ウ 観光事業功労者及び優良従業員表彰

6月24日(火)に開催した通常総会において、観光事業の推進に功績があった者及び観光関係団体等での模範となる者の表彰を行った。

表彰者数: 観光事業功労者2名、観光事業優良従業員7名

2 誘客対策強化事業（公益目的事業2）

（1）県外旅行会社対策事業 決算額 22,370,692 円 (24,500 千円)

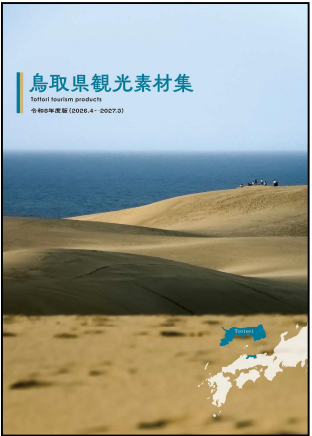
県外旅行会社へ本県の観光情報や観光素材の提供や現地視察研修等により、旅行商品の造成・販売促進を支援し、本県への誘客を図った。

ア 販売促進活動事業

各圏域担当の観光プロモーターを中心に、県外旅行会社に魅力的な観光素材の情報提供や旅行商品支援事業等の活用を促し、旅行商品の造成・販売促進を促進するとともに、観光消費額の拡大を目指し、富裕層向け商品やテーマ性のある商品、滞在型商品の造成販売の支援を行った。
また、加速する個人旅行化への対策として、個人向け旅行商品の販売促進支援を図った。

- ①観光プロモーターの主な活動内容
- ・商品造成や店頭販売の拡大に向けた、旅行会社への助成を含む観光情報等の提供及び旅行会社担当者の県内視察誘致。
 - ・連盟会員との連携による旅行会社訪問キャラバンの同行及び、地元事業者との意見交換や県内観光施設の視察等を通じた観光素材の開発や情報提供。
- ※観光プロモーターの活動実績等は各事業を参照

- ②観光素材集の作成・配布
- 鳥取県観光素材集 2,500 部印刷
- 鳥取県観光素材集 別冊鳥取グルメお食事ナビ 1,500 部印刷
(観光情報説明会及び旅行会社訪問時に配布)



鳥取県観光素材集

イ 観光情報説明会開催事業

県外旅行会社向けに、旅行商品素材や観光情報を提供する観光情報説明会・商談会を春季には、大阪・名古屋・広島で開催し、秋季は会員の要望が多かった東京と大阪で開催した。
また、春季の広島、秋季の大阪・東京では地元食材をアピールするための懇親会を開催し、魅力ある食材の情報発信を行った。
・開催実績

開催地	日程	旅行会社	地元事業者
広島	4/16 (懇親会)	12 社 30 名	38 事業者 51 名
名古屋	4/22	21 社 28 名	30 事業者 40 名
大阪	4/23	19 社 39 名	39 事業者 51 名
大阪	9/9 (懇親会)	18 社 45 名	43 事業者 56 名
東京	9/10 (懇親会)	15 社 41 名	27 事業者 33 名



4/22 名古屋 (商談会)

ウ 旅行会社等招致事業

県外旅行会社の商品造成・販売担当者を対象に、現地受入れによる視察研修を実施した。特に県内消費の拡大を訴求するため、一般旅行商品の造成担当者に加え、富裕層向け担当者や旅行会社の団体・個人の販売担当者を対象とした視察・研修を行った。

- ・実施旅行会社
- JTB (宇都宮) (埼玉) (ロイヤルロード銀座)、阪急交通社 (東日本) (中部) (静岡) (西日本)、読売旅行 (東京企画)、大丸松坂屋百貨店 (名古屋)、エイチ・アイ・エス (関西バスチーム)、クラブツーリズム (ロイヤルグランステージ) (国内旅行部)、日本旅行 (おとなびジパング)、名鉄グループバスHD、神姫観光 (ツアー課)、神姫バス (真結事業課) 合計 16 件

(2) 旅行商品支援事業

決算額 37,792,247 円 (50,500 千円)

旅行会社の旅行商品の造成・販売経費等の一部を支援することにより誘客の促進を図った。

ア バス旅行商品支援事業 <県補助>

バス利用により本県を周遊する旅行商品を造成・催行する県内外の旅行会社に対し、バス経費の一部を支援した、また今年度は大阪・関西万博に伴う関西圏域のバス需要のひっ迫が懸念されたため、支援単価の増額や県内バス利用加算を行った。

万博や猛暑等の影響で誘客の大幅な減少が懸念されたが、良好な利用に繋げることができた。
(対前年バス台数比 約 96.7%、人数比 99.0%)

① 支援制度の概要

補助額 宿泊旅行 バス 1 台当たり 40 千円 (※10 千円) 県内バス加算 20 千円
日帰り旅行 バス 1 台当たり 15 千円 (※ 5 千円) 県内バス加算 5 千円

※()内の金額は、土休日の前日が宿泊日の宿泊旅行および土休日の日帰り旅行

② 令和 7 年度実績

区分	実施件数	バス台数	実績人数	交付実績
宿泊旅行	374 件	615 台	17,659 人	25,330 千円
日帰り旅行	268 件	437 台	21,487 人	4,640 千円
合 計	642 件	1,052 台	39,146 人	29,970 千円

イ 旅行商品造成支援事業 <県補助>

旅行会社の団体商品(募集型・受注型)を対象に、パンフレット等の作成経費やプロモーション経費等に支援を行うとともに、旅行会社のパンフレット・広告・Web ページ等に鳥取県の魅力的な観光素材や宿泊施設が掲載されることを通じて、本県への興味を喚起し、本県への誘客拡大に取り組んだ。

① 支援制度の概要

補助額 旅行商品造成・宣伝経費等の 2 分の 1 以内
(上限 500 千円/1 事業所)

② 令和 7 年度の実績

阪急交通社 「グリーン車ミステリーツアー 4 日間」
エイチ・アイ・エス 「ぐるっと鳥取 2 日間」
読売旅行 「年度末感謝祭 三朝温泉 2 日間」他
合計 13 ツアー 集客実績 3,490 名



阪急交通社ミステリーツアー

ウ 旅行会社広告宣伝支援事業 <県補助>

個人旅行化が進み、旅行の申込みがインターネット等へシフトしている状況に対応するため、旅行会社が自社の Web ページ上で鳥取県の観光情報を活用して広告宣伝を行う場合に支援を実施した。

① 支援制度の概要

鳥取県の情報を「A4 サイズ 4 ページ相当」以上掲載
公開 1 ヶ月以上 100 千円
公開 3 ヶ月以上 200 千円 (1 事業所上限 500 千円)

② 令和 7 年度の実績

エイチ・アイ・エス、JTB、東武トップツアーズ、日本旅行
他 合計 8 件



JTB (ホームページの一部)

エ 特定会員組織連携誘客促進事業

福利厚生代行業界大手の「リロクラブ」と連携し、おもにファミリー層を対象とした夏季集中キャンペーンを組織会員に向けて実施した。

・実施概要と実績

実施期間 令和 7 年 6 月 17 日～8 月 31 日 (景品付きクイズは 9 月 30 日まで実施)
実績人泊数 2,761 名 (対前年 106.6%)
実績取扱額 28,770 千円 (対前年 106.5%)



リクラブ Web 画面の一部

オ 旅行会社パンフレット類広告掲載委託 <県委託>

個人旅行者が旅行先として本県を選択する動機付けを図るため、旅行会社が作成するデジタルパンフレットを含む個人向け旅行商品パンフレットにおいて、本県旅行に関する広告枠（指定デザイン）の掲載に対し支援を実施した。

①支援制度の概要

連盟が作成した鳥取県観光情報の掲載に際し
掲載サイズと発行部数に応じて定額支援

②令和7年度の実績

JTBガイアレック（夏旅・夏 KIDS）
東武トップツアーズ（FEEL かこうまし、日本海）
日本旅行（旅コレクション）他

合計9件



パンフレット掲載用(提供)1/4サイズカセットデータ
他に1/8、1/2サイズ版あり

(3) 緊急時観光振興対策措置事業

決算額1,047,400円(5,000千円)

令和8年1月6日に島根県東部を震源とする地震の風評被害に対応する為、旅行会社店頭でキャンペーンを行った。

※詳細は、「誘客キャンペーン事業（公益目的事業2・緊急時観光振興対策措置事業）」に記載

3 誘客キャンペーン事業（公益目的事業2）

(1) 鳥取きなんせキャンペーン事業

決算額19,801,308円(20,925千円)

観光消費額の拡大に向けたリピーター対策やグルメ等をテーマとした各種誘客キャンペーンを実施し、本県の観光コンテンツを県外の商業施設や高速道路サービスエリア、観光関連イベント等で広くPRする。

ア 蟹取県ウェルカニキャンペーン <県委託>

秋冬シーズンの観光誘客を図るため、県内宿泊施設に宿泊した方に「鳥取のカニ」をプレゼントするキャンペーンの応募受付業務及び賞品（カニ）の発送業務を行った。

<主な取組内容>

- ・宿泊キャンペーン（応募者情報の集計、抽選及び旬のカニ発送）
（実施期間）令和7年10月14日～令和8年2月28日
（実施内容）毎月抽選で100名に旬のカニをプレゼント
（応募数）13,375件（対前年比98.5%）

応募の多い県（本県を除く）

兵庫県 1,814 件、大阪府 1,737 件、岡山県 1,473 件、広島県 1,141 件

イ イベント活用誘客キャンペーン事業 <一部県委託>

①旅行会社・関係団体等との連携による誘客キャンペーンの主な実績

・店頭キャンペーン

JTB店舗(埼玉、多摩、宇都宮、名古屋(2回)、三河、大阪北、神戸、広島)、日本観光社
※JTB店舗(名古屋) 地震対策を含め実施

・PRイベント

東京シティアイ(2回)、名古屋ユニモール、イオンモール岡崎、広島紙屋町シャレオ
ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸

合計 16 件(※地震対策として実施した店頭キャンペーンは除く(JTB 大阪北、神戸、広島))



10/18-19 広島紙屋町シャレオ PR イベント



5/29-30 東京シティアイ PR イベント



9/25-28 ツーリズム EXPO (名古屋)

②中国道等のサービスエリアでのPRイベント等実績

・PRイベント(パンフレット・ノベルティの配布、SNSキャンペーン等)

加西SA(下り): 4月26日、GW向け及び春季イベントを中心にPR

〃 : 7月19日、夏休み向け及び夏季イベントを中心にPR

〃 : 9月6日、梨狩り、蟹取県及び秋季イベントを中心にPR

〃 : 11月8日、冬季イベントを中心にPR (NEXCO 西日本米子高速道路事務所との共催)

蒜山高原SA(下り): 11月1日、冬季イベントを中心にPR (NEXCO 西日本米子高速道路事務所との共催)

・施設内パンフレット通年配架

加西: 下り4枠、上り2枠、宝塚北: 2枠、大津: 下り2枠、西宮名塩: 下り2枠

(2) 緊急時観光振興対策措置事業

決算額 4,104,520 円 (5,000 千円)

令和8年1月6日に島根県東部を震源とする地震が発生し、鳥取県内でも最大震度5強の揺れにより一部の施設に被害が発生したこと、また1月は週末ごとに悪天候であったことも重なり、多数の宿泊のキャンセルが発生したことから、以下のとおり対策に取り組んだ。

ア 地震発生直後の取組

- ・地震による施設等の臨時休業やイベント中止等の発生についての会員照会
- ・観光事業者等へ状況等の聞き取りをし、必要な対策を検討
- ・連盟SNSアカウントによる「営業休止」や「影響有無」に関する投稿(夢みなとタワー、米子城跡等)
- ・各地域が発信している「通常営業」「被害はない」といったSNS投稿の拡散(フォロー、リツイート)

イ 国や旅行業界への要望活動

鳥取島根両県知事による国土交通省及び日本旅行業協会への要望活動（1月20日）に小谷会長が同行し、「現在は安心して旅行いただける状況」であることを報告するとともに、風評被害対策への支援を要望した。



国土交通省への要望活動



日本旅行業協会への要望活動

ウ 観光パスポート「トリパス増刊号」ポケふた周遊スタンプラリー（デジタル版）

県内の周遊促進策として1月末まで実施した「トリパス・ポケふた周遊スタンプラリー」の追加版を「増刊号（デジタル版のみ）」として実施した。

- ・県内 27 か所のスタンプ設置場所のうち 2 か所のスタンプを収集して応募。
- ・実施期間：2月20日（金）～3月31日（火）／ 応募締切：4月10日（金）
- ・応募状況：199 件

エ 旅行会社店頭でキャンペーン（誘客対策強化事業（公益目的事業2））

地震による風評被害に対策として、旅行会社店頭でキャンペーンを行い情報の発信を行った。

- ・実施期間 令和8年2月1日～2月28日
- ・実施旅行会社 JTB大阪北エリア（9店舗）
JTB神戸エリア（7店舗）
JTB広島エリア（3店舗）



トラベルゲート三ノ宮

オ 広報宣伝活動

- ・Google 広告、SNS 広告の出稿
風評被害対策の一環として公式ホームページ「とっとり旅」や SNS での発信に加え、午年開運神社巡りやトリパスなどを主テーマに据えて来県や県内周遊を喚起する Web ツールを活用した情報発信を実施した。
- ・Web メディア「na-na」と連携した Web 記事配信
日本海テレビの Web メディア「na-na（ナーナ）」が県内を取材し Web 上で配信した。

期間	取材先	主な内容
12/26～	天神垣神社周辺 スポット	開運神社巡りを PR：午年の運氣に“うま”く乗ろう！
1/29～	まちパル、白兎 神社他	開運神社巡りを PR：2026 年運氣 UP！鳥取パワースポット旅
1/24～	道の駅琴の浦	蟹取県ウエルカニキャンペーンを PR



Web 記事 天神垣神社の紹介

カ 県外の鳥取県イベント会場での P R

次のイベントに参加し「鳥取県は元気です」を発信することにより誘客促進を図った。

期日・名称	主な内容
1月24日（土） 大阪モノレール日本酒列車	大阪モノレール万博記念公園駅構内のイベント会場にブース出展し、開運神社巡りの PR や連盟 SNS フォロワー向け抽選会を実施。あわせてモノレール車内でも PR を実施。

1月25日(日) 「まんが王国とっとり ええもん売ってマンガな」	リーベルホテル大阪(大阪市)ロビーの鳥取県コーナー(県 関西本部が設置)で関西本部主催のイベントに参加し、PR 活動を実施。
--	--

キ PRツール作成

イベントや旅行会社訪問に使用するPRノベルティを作成、購入した。

- ・オリジナルトートバッグ、観光連盟クリアファイル、ボールペン等の作成
- ・県内温泉地の入浴剤や化粧水(ミスト)の購入 など

4 観光情報発信事業 (公益目的事業2)

(1) 観光情報発信強化事業

決算額 16,848,445円(28,460千円)

Web、SNS等による情報発信やマスメディアを活用した情報発信等により、本県の観光魅力を県内外にアピールし、本県への誘客を図る。

ア 情報発信ツール刷新事業

ユーザーが求めている情報を優先して表示できるような「使いやすさ」を向上することを目的に令和8年9月に公式ホームページのリニューアルを行うべく、令和7～8年度の2カ年をかけて、サイト構築を進めた。

イ 観光PR事業 <一部県委託>

印刷物・ホームページ・SNS等を活用し、本県の観光魅力を県内外にアピールした。

- ・連盟ホームページでの情報発信

県内の観光情報を「イベント情報」「参加者募集」「おすすめ情報」として随時掲出した。また、四季に応じた特集や、県内の注目を集めるイベントの特集ページを作成・掲載し、特集記事に誘導するGoogle広告を実施した。

- ・SNSでの情報発信

Facebook、X、Instagramによる日常的な投稿(情報発信)を実施。SNSプレゼントキャンペーンを実施し、フォロワーの増加に努めた。

[SNSの状況]

媒体	フォロワー数 (R8.3.31時点 対前年比)
Facebook	10,037人 (8,942人 112.2%)
X	35,090人 (25,832人 135.8%)
Instagram	23,709人 (17,905人 132.4%)

[SNSキャンペーン]

実施期間	配信内容	媒体	応募件数
R7.6.2～6.20	夏だ! スイカだ! キャンペーン	X	1,418件
R7.7.22～9.1	鳥取の梨プレゼントキャンペーン	X	13,725件

[SNS広告]

実施期間	配信内容	媒体	表示回数
R7.6.2～6.20	夏だ! スイカだ! キャンペーン	X	357,161回
R7.7.22～9.1	鳥取の梨プレゼントキャンペーン	X	327,459回

- ・広島経済大学若旅プロジェクト

広島経済大学と連携し、鳥取県の一般的な観光地だけでなく、学生ならではの視点で県内観光資源を発掘した。令和7年度は2か年計画のうち最終年度となり、情報発信のツールとしてマップを作成することになった。(完成は令和8年度)

- ・観光ガイドマップの作成

作成部数: 4回増刷、20万部(うち簡易版 増刷2回、計10万部)

広告枠に開運神社巡り、トリパス、観光デジタルマップ、AIモデルコース、大阪・関西万博等、時宜を得た広告を掲載し、県内を中心とした観光施設、宿泊施設や道の駅などに配架した。

(2) 優良観光みやげ品PR事業**決算額 1, 287, 652円 (1,500千円)**

本県の観光みやげ品の評価及び品質向上のため「優良観光みやげ品」の認定を行うとともに、認定制度自体の活性化のための活動や、魅力的なみやげ品による本県への誘客促進につながるよう、広く観光みやげ品をPRする取組を行った。

ア 審査会の開催

日 時 令和7年10月28日
会 場 ホテルセントパレス倉吉
審査員 鳥取県観光みやげ品協議会 城内会長
他 計7名

指 定 21品目、28商品（昨年度：19品目、30商品）
※認定期間は2年間



みやげ品PRの様子（HP）

イ 優良観光みやげ品のPR・情報収集

- ・連盟ホームページ（主に専用ページ「とっとりお土産ガイド」）による広報
- ・当連盟が実施するプレゼントキャンペーン等での当選商品、他団体が会合等での景品提供

ウ 本県の観光みやげ品全般のPR

- ・県外の観光PRイベント等でのPR（KITTE 東京（5/29-30）、アウトレット広島（8/3）、由志園（8/10）、ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸（9/27-28）、広島紙屋町シャレオ（10/18-19）、グリーンレモンフェスタ in 尾道（11/2）、KITTE 東京（11/6-7））
- ・旅行会社向け「観光素材集別冊 とっとりグルメ・お食事ナビ」にてみやげ品掲載
- ・連盟ホームページ内専用ページ「とっとりお土産ガイド」内で、みやげ品及び特集記事の情報更新
- ・ノベルティの作成（観光情報、ホームページ「とっとりお土産ガイド」の紹介）

(3) フィルムコミッション事業 <県補助>**決算額 30, 019, 430円 (32,094千円)**

映画やドラマ等の制作ロケを本県へ誘致し、ロケ地を観光拠点とするロケツーリズムを推進し、いわゆる「推し活」需要による観光振興を図った。

映像制作会社等にロケ誘致を働きかけるため専任職員3名を配置し、映画、テレビドラマ、テレビ番組、CM、プロモーションビデオなどの撮影誘致、ロケハン・撮影支援、誘致作品を活用した情報発信を行った。

ア 主な取組内容

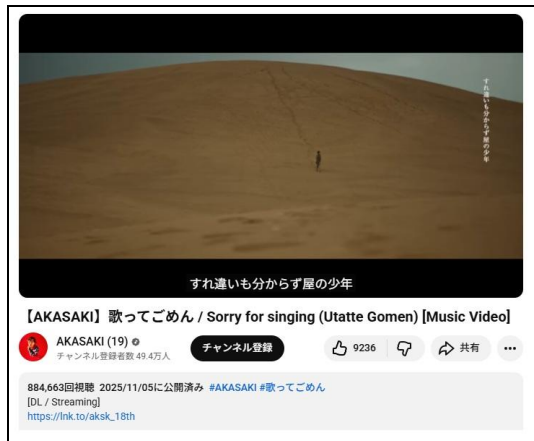
- ・ロケ候補地の情報収集と制作会社等への情報提供、ロケハンや撮影の同行
- ・国、県、市町村、警察など関係機関への必要な許可申請手続の案内、協力
- ・宿泊施設、飲食店、弁当、各種資器材業者、ロケバス車両等の紹介
- ・ボランティアエキストラなどの募集、手配の協力
- ・ホームページやとっとり映像ライブラリーの運営、SNSによる支援作品等の情報発信
- ・ジャパンフィルムコミッション主催の「全国ロケ地フェア」への参加による撮影の誘致
- ・ロケツーリズム協議会主催の「マッチング大会」への参加、映像制作会社との個別商談会
- ・首都圏等の制作プロダクションに所属する監督やプロデューサーの県内招聘

イ ロケ支援件数

	R7年度	R6年度	R5年度
問い合わせ対応件数	162	159	126
放送・配信・公開件数	99	81	72

ウ 主な支援作品

- ・日本テレビ『旅するSnow Man-Traveling with Snow Man 鳥取・岡山-』（9月14日放送）
- ・ミュージックビデオAKASAKI「歌ってごめん」（11月5日公開）
- ・NHK WORLD「Journeys in Japan Hiking the San'in Coast Tottori」（11月25日公開）
- ・読売テレビ「遠くへ行きたい～板谷流！初めての鳥取旅～」（読売テレビR8年2月15日放送）



AKASAKI
MV「歌ってごめん」(鳥取砂丘)
88万回視聴



読売テレビ・日本テレビ「遠くへ行きたい」
(北栄町、琴浦町、三朝町、倉吉市)

エ 撮影誘致作品を活用した情報発信

- ・WOWOW×Lemino 連続ドラマ「北方謙三 水滸伝」特設ページの公開
- ・ドラマSNS投稿



「水滸伝」特設ページ



SNS投稿の様子

オ とっとり映像ライブラリー

県外の映像制作会社や旅行会社等を対象とした県内の観光映像素材（動画・静止画）の閲覧・利用サイト「とっとり映像ライブラリー」の収録素材の拡充、素材提供を行った。

- ・収録動画数 155本 (R8.3.31 現在)
- ・動画提供件数 41件 (R8.3.31 現在)



とっとり映像ライブラリー

5 会員等との連携事業（相互扶助等事業）

（1）会員団体等との連携・支援事業

決算額 400,000円 (3,500千円)

会員等で構成される団体と連携し、大規模イベントへの出店や県外旅行会社の招聘を行い本県の観光地のPRや誘客活動を行った。

＜主な取組内容＞

- ・宿フェス in Osaka EXPO2025 “ONSEN” Summit への共同出展
連携団体：鳥取県旅館ホテル生活衛生協業組合
内 容：大阪・関西万博で開催された宿フェスに出展し、観光PRを実施

- ・県外旅行会社の懸賞旅行の共同招致
 連携団体：鳥取県観光施設連絡協議会
 内 容：共同招致する懸賞旅行の広報物の作成を支援

(2) 地域別連携推進事業

決算額 0 円 (200 千円)

各地域のDMO・観光協会・行政関係者を個別訪問し、各地域が抱える課題等について幅広く議論し、課題解決に向けた意見交換や情報共有を行った。併せて、各圏域DMO・各観光協会及び当連盟の令和7年度の事業計画、今後の展開等の情報共有を行った。

6 収益事業 (収益事業)

(1) 観光関連商品作成事業

決算額 1, 1 2 2, 3 1 5 円 (1, 600 千円)

ア 観光関連商品作成事業

本県の観光PRに資する商品として、観光名刺(台紙)を作成し販売した。
 また、開運神社巡り事業の周遊ツールとして開運手ぬぐいを作成した。

7 その他

ア 監査の実施

期日場所 令和7年5月22日、観光連盟事務所内
 事 項 令和6年度事業実施状況及び収支決算状況

イ 通常理事会(第1回)の開催

期日場所 令和7年6月3日、エキパル倉吉
 議 事 令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度補正予算、令和7年度観光事業功労者及び優良従業員表彰、通常総会の招集
 協 議 役員の選任、役員の報酬及び費用に関する規程の改正

ウ 臨時理事会(第1回)の開催

期日場所 令和7年6月24日、ホテルセントパレス倉吉
 協 議 役員の選任

エ 通常総会の開催

期日場所 令和7年6月24日、ホテルセントパレス倉吉
 議 事 令和6年度事業報告・収支決算、役員の選任、役員の報酬及び費用に関する規程の改正
 報 告 令和7年度補正予算、令和7年度観光事業功労者及び優良従業員表彰

オ 臨時理事会(第2回)の開催

期日場所 令和7年6月24日、ホテルセントパレス倉吉
 協 議 会長の選任、副会長及び代表理事の選任、専務理事の選任

カ 臨時理事会(第3回)の開催

期日場所 令和7年9月29日、エキパル倉吉
 議 事 等 令和7年度補正予算、会員の入退会、職務執行状況報告

キ 臨時理事会(第4回)書面表決

議 事 等 令和7年度補正予算

ク 通常理事会(第2回)の開催

期日場所 令和8年3月2日、エキパル倉吉
 議 事 等 令和8年度事業計画・収支予算、会員の入退会、臨時総会の招集、職務執行状況報告
 協 議 役員の報酬及び費用に関する規程の改正、定款の変更

ケ 臨時総会の開催

期日場所 令和8年3月26日、鳥取県立倉吉未来中心
 議 事 定款の変更、役員の選任、役員の報酬及び費用に関する規程の改正
 報 告 令和7年度補正予算、令和8年度事業計画・収支予算